

MUFG 平成 17 年度決算の概要

～主要計数～

(単位：億円)	16 年度*1	17 年度*2	
			前年同期比
MUFG 連結損益			
当期純利益	▲2,161	11,817	13,978
与信関係費用総額	▲10,755	3,897	14,652
B/S 関連			
自己資本比率 (速報)	11.5%	12.20%	+0.7%
Tier1 比率	5.9%	6.80%	+0.9%
繰延税金資産/Tier1	25.7%	8.3%	▲17.4%
開示債権比率 (銀行単体合算)	3.33%	2.07%	▲1.26%

*1 旧 MTFG と旧 UFJHD の単純合算 (但し、自己資本比率は旧 MTFG から旧 UFJ 銀行への出資 7,000 億円の控除、Tier2 算入額の再計算後)

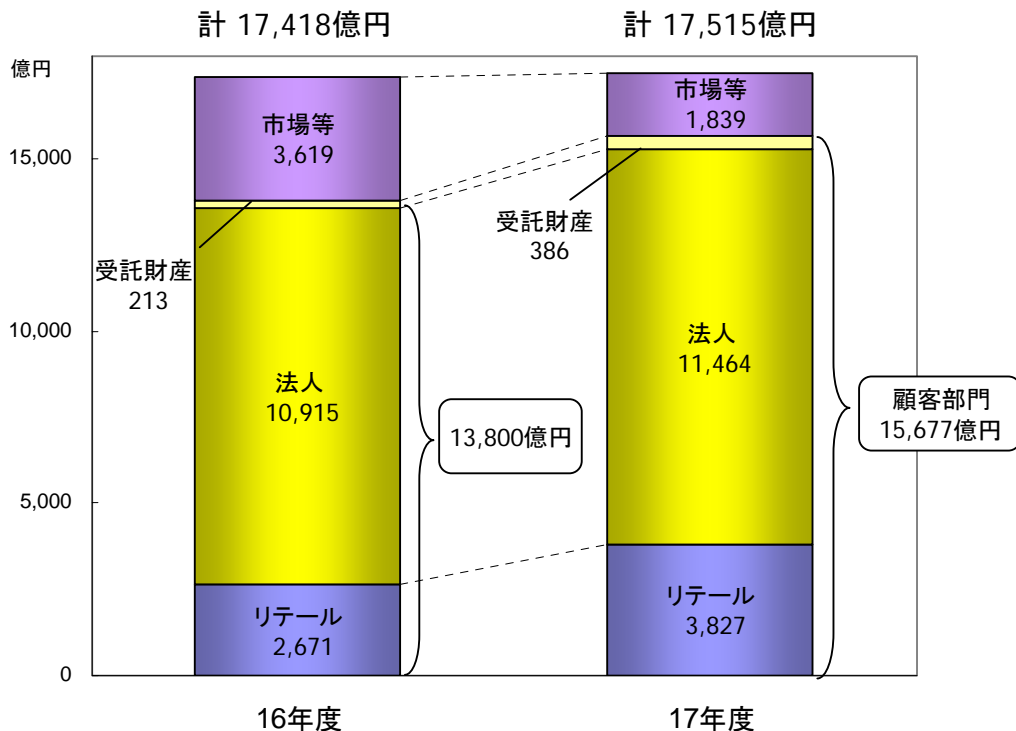
*2 連結損益は旧 UFJHD 連結の 17 年 4 月～9 月実績を含む

～17 年度の成果～

① 顧客部門収益力の着実な成長

顧客部門営業純益は 13,800 億円から 15,677 億円に 1,877 億円増加しました。リテールでは運用商品販売が好調だった他、UFJ ニコスの新規連結要因もあり大幅増益となりました。また、法人ではアジアビジネス・投資銀行業務収益、受託財産では投信関連収益が好調でした。

連結営業純益の推移



営業純益…連結業務純益の内部取引消去等連結調整前の計数 (管理ベース)

② MTFGグループとUFJグループの合併完了

17年10月には持株会社・信託銀行・証券会社の合併、18年1月には商業銀行の合併が完了し、グループ内の主要会社の合併が完了しました。

③ 公的資金の返済

- ◇ 17年9月に1,000億円を返済し、公的資金劣後債を完済しました。
- ◇ 17年10月～18年3月にかけて、公的資金優先株式の譲渡及び転換された普通株式を自己株式として買受けることにより、8,960億円*の返済を行ないました。この結果、18年3月末時点の残高は、17年9月末の1兆4,000億円*から5,040億円*に減少しました。

* 当初発行価額ベース

④ お客様・株主の皆様への合併効果の還元

- ◇ 3月2日に公表した「個人のお客様の振込み手数料一部無料化」を5月22日（本日）受付分から実施しております。
- ◇ 2月15日に普通株式の一株あたり期末配当予想を3,000円から4,000円に変更することを公表しております。

～18年度業績予想～

MUFG 連結

(億円)	17年度実績*		18年度予想	
		中間期実績*		中間期予想
経常利益	14,333	7,363	14,300	6,300
当期純利益	11,817	7,117	7,500	3,400

(一株当たり配当予想)

普通株式	年間 7,000 円	中間 3,000 円	年間 7,000	中間 3,500
------	------------	------------	----------	----------

* 連結損益は旧UFJHD連結の17年4月～9月実績を含む

本説明資料には、当社又は当社グループの業績、財政状態その他経営全般に関する予想、見通し、目標、計画等の将来に関する記述が含まれています。かかる記述は、現時点における予測、認識、評価等を基礎として記載されています。また、将来の予想、見通し、目標、計画等を策定するためには、一定の前提(仮定)を使用しています。これらの記述ないし前提(仮定)は、その性質上、将来その通りに実現するという保証はなく、客観的には不正確であったり、実際の結果と大きく乖離する可能性があります。例えば、当社に関する予想・見通し等は旧UFJホールディングスとの経営統合計画が順調に実施されることを前提に策定されています。また、繰延税金資産の回収可能性に関する記述等も、当社の経営計画及びその前提条件その他の予測等に基づくものであり、そのような事態の一例と考えられます。そのような事態の原因となりうる不確実性やリスクの要因は多数あります。その内、現時点において想定しうる主な事項については、決算短信の「3. 経営成績及び財政状態」、有価証券報告書、ディスクロージャー誌、Annual Reportをはじめとした当社の公表済みの各種資料の最新のものを参照ください。